

- 本日はペンテコステです。聖霊降臨の歴史的出来事について共にみことばに聴き入りたいと思います。
- 同盟基督教団ではこの日を「国外宣教デー」と定めています。礼拝後に動画をご覧ください。共に宣教師の先生方、ご家族、並びに各宣教地のためにお祈りしましょう。
- 使徒の働き 2章より
  - 主イエスさまの十字架後、三日目に死から蘇られ、40日間、弟子たちにご自身を示されました。その後の「五旬節の祭り」の時に起こった出来事です。
  - 使徒の働き 1:4-5, 8節「エルサレムを離れないで、わたしから聞いた父の約束を待ちなさい。ヨハネは水でバプテスマを授けましたが、あなたがたは間もなく、聖霊によるバプテスマを授けられるからです。…しかし、聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、わたしの証人となります。」
  - 五旬節の祭り→出エジプト後、シナイ山のふもとで。律法が神さまから与えられたことと関連付けて捉えられる。
  - 2:2 神顕現的な出来事。出エジプト記 19:16「三日目の朝、雷鳴と稲妻と厚い雲が山の上にあつて、角笛の音が非常に高く鳴り響いたので、宿営の中の民はみな震え上がった。」
    - ◇ 「風」「炎」→神さまの臨在を示す(出 19:16; 20:18)
    - ◇ ペンテコステでの人々のリアクションは異なる。
      - イエスさまの復活後の人々のリアクション(ルカ 24:37)→幽霊を見ていると思った。
    - ◇ 聖霊に満たされ、御霊が語らせるままに他国のいろいろなことばで話し始めた。神さまの偉大な御業を大胆に語り始めた。
  - ペテロの説明(2:33以下)「神の右に上げられたイエスが、約束された聖霊を御父から受けて、今あなたがたが目にし、耳にしている聖霊を注いでくださったのです。」
    - ◇ 旧約聖書:
      - 超自然的な神顕現現象:出 19:16; 20:18; 民 11:24-30 など
      - 聖霊がくだるという約束:ヨエル 2:28-29、イザヤ 44:3、エゼキエル 37、39:29、ゼカリヤ 12:10 など
  - 2:7-8 「ガリラヤの人たち」
    - ◇ 驚き。しかし、この出来事自体に驚いただけではなさそう。彼らが語った「内容」に驚きを感じたのではないかと→11節「神の大きなみわざ」それを自分たちが理解できる言葉によって聴いた。
- ペンテコステが示す三つのこと:
  - ◇ 新しい時代の始まり
  - ◇ キリストによって人々が一つとなること
  - ◇ 神さまが約束を守り必ず成就されるお方であること
- ナジアンゾスのグレゴリオス:ペンテコステについての説教(『Oratio 講話 41』)
- 今日における宣教の拡がり:大宣教命令(マタイ 28:19-20)→「すべてのことを守るように教えなさい。」
  - 今まで「宣教地」と考えられていたところから世界へ
  - 日本国内の在留外国人の間へ
  - フランソンスピリット
- キリストによって贖われた。生まれ変わった。全ての汚れと恥が拭い去られた。永遠の生命が与えられた。我々も「聖霊に満たされて」主イエスさまの十字架と復活の福音、主イエスさまのことを宣べ伝えていこう。